

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2006-102340(P2006-102340A)
 【公開日】平成18年4月20日(2006.4.20)
 【年通号数】公開・登録公報2006-016
 【出願番号】特願2004-295785(P2004-295785)
 【国際特許分類】

A 4 7 K 11/04 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月21日(2007.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

便座を有するポータブルトイレと、
 前記ポータブルトイレ後方下部に固定されたキャスターと、
曲折して形成されその両端部が前記ポータブルトイレの側面後方部に形成された固定部に
固定される手すりと、
 を具備する手すり付きポータブルトイレにおいて、
 前記手すりが、
前記ポータブルトイレに取付けられる取付部と、
 前記便座の後端部上方位置でかつ略平行に形成された水平部と、
該水平部の両端から下方前方に傾斜するように曲折させることで形成された傾斜部と、
前記便座の上方の位置となる前記傾斜部の前端から下方略鉛直方向に曲折させることで形
成された湾曲部と
該湾曲部から下方鉛直方向に形成され、前記取付部が設けられた一对の鉛直部と、
前記湾曲部から所定距離上方に隔てた傾斜部の所定位置に設けられた回動支持部と、
該回動支持部に対して、前記便座と略平行な位置と、前記便座の側方空間を開放する略垂
直な位置の間において回動可能となるように支持された可動式手すりと、
 からなることを特徴とする手すり付きポータブルトイレ。

【請求項2】

前記可動式手すりが、前記便座と略平行な位置では便座側の内側に傾いた位置と、前記便座と略垂直な位置では便座側と逆の外側に傾いた位置との間で回動することを特徴とする請求項1記載の手すり付きポータブルトイレ。

【請求項3】

前記ポータブルトイレ前方下方部に凹部を有することを特徴とする請求項1～2のいずれかに記載の手すり付きポータブルトイレ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、請求項1の発明によれば、便座を有するポータブルトイレと、前記ポータブルトイレ後方下部に固定されたキャスターと、曲折して形成されその両端部が前記ポータブルトイレの側面後方部に形成された固定部に固定される手すりと、を具備する手すり付きポータブルトイレにおいて、前記手すりが、前記ポータブルトイレに取付けられる取付部と、前記便座の後端部上方位置でかつ略平行に形成された水平部と、該水平部の両端から下方前方に傾斜するように曲折させることで形成された傾斜部と、前記便座の上方の位置となる前記傾斜部の前端から下方鉛直方向に曲折させることで形成された湾曲部と該湾曲部から下方鉛直方向に形成され、前記取付部が設けられた一对の鉛直部と、前記湾曲部から所定距離上方に隔てた傾斜部の所定位置に設けられた回動支持部と、該回動支持部に対して、前記便座と略平行な位置と、前記便座の側方空間を開放する略垂直な位置の間において回動可能となるように支持された可動式手すりと、からなることを特徴とする。

これにより、この手すりとポータブルトイレに固定されているキャスターを利用することで、必要に応じポータブルトイレを自在に動かすことができる。また、可動式手すりが便座と略平行にある場合には、使用者は便座への着座や起立時に可動式手すりを掴むことにより安全な動作を行うことができ、また用便中に体を支えることができる。また可動式手すりが便座と略垂直にある場合には、使用者がポータブルトイレへ移乗することが簡単になるとともに、可動式手すりと湾曲部までの傾斜部を掴んで移乗できるように構成されているため、介護者の補助なしに容易に移乗を行うことができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また請求項2記載の発明によれば、前記可動式手すりが、前記便座と略平行な位置では便座側の内側に傾いた位置と、前記便座と略垂直な位置では便座側と逆の外側に傾いた位置との間で回動することを特徴とする。

これにより可動式手すりが前記便座と略平行な位置では、使用者の体に沿って可動式手すりがあり使用時に体の安定を得ることができ、排泄を促す前傾姿勢が長時間でも楽に保てるとともに、用便時に力を入れやすい。また前記便座と略垂直な位置では、便座側と逆の外側に位置に回動することで、可動式手すりはポータブルトイレ本体と干渉することがなく、更に座った姿勢の使用者が可動式手すりを略平行な位置へ降ろすためにつかむ動作も行いやすく、部材に傷がついたりすることがなく反復する動きも常にスムーズに行われる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また請求項3記載の発明によれば、前記ポータブルトイレ前方下方部に凹部を有することを特徴とする。

これによりポータブルトイレを移動させる際には、この凹部に手をかけることで移動が

させやすくなる。